

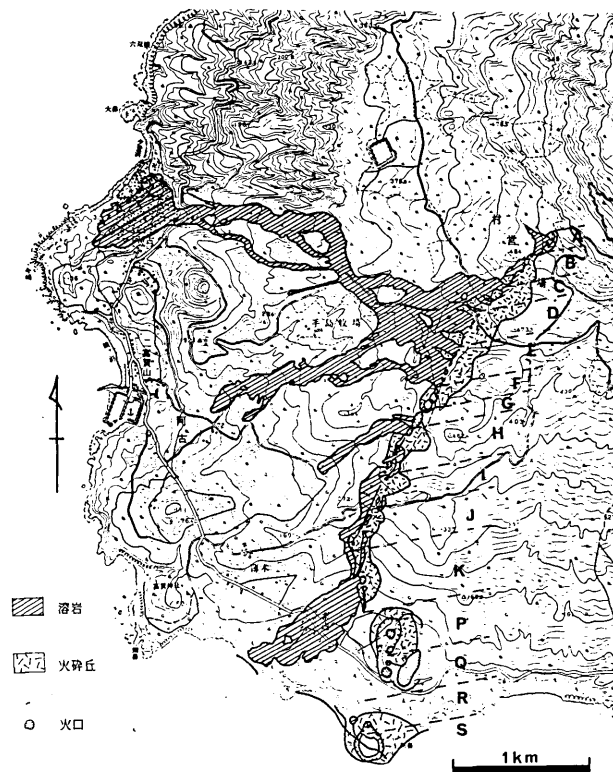
# 三宅島火山1983年噴火の火口群の命名<sup>\*\*\*\*</sup>

東京大学地震研究所<sup>\*</sup>・地質調査所<sup>\*\*</sup>  
東京大学教養学部<sup>\*\*\*</sup>

三宅島火山1983年の噴火は雄山の南西中腹から南南西方向に海岸に達するおよそ4.5 kmの噴火割れ目で起こった。この噴火割れ目は、火口群からなる短い火口列の雁行配列からなる。また各火口及び火口群からの噴出物の量は、一様ではなく、顕著な火砕丘を形成した火口群やほとんど噴出物を放出していない火口および火口群が認められる。火口および火口群の配列と噴出物を降下火砕物によって4.5 kmの噴火割れ目を火口群とし細分することができる。

今後の研究や成果の公表の場合に各研究者が、それぞれ火口群に独立に名称を与えることは、無益な混乱を引き起こしかねない。そのため三宅島1983年噴火の火口群に対するわれわれの命名を紹介する。

(第1図)



第1図 三宅島火山1983年噴火の火口群の命名

Fig. 1 Naming of craters of 1983 eruption of Miyakejima Volcano

\* 荒牧重雄

\*\* 曾屋龍典

\*\*\* 大島 治

\*\*\*\* Received Apr. 11, 1984